

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	01-02-01	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	区功労者表彰	部課名	総務企画部秘書課	課長名	秦野	担当者名	清水
							2005
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-05-01	区功労者表彰					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業		○それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 35年度		根拠	荒川区表彰規則		荒川区表彰要綱	
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅶ 計画推進のために					
	政策	13 区民の主体的な区政参画と連携強化					
	施策	01 区民参画・協働の推進					
目的	区の振興・発展に特に功労があった者の事績をたたえることにより、区民の福祉の増進に資することを目的とする。（荒川区表彰規則第1条）						
対象者等	顕著な功績または模範として、推奨するにふさわしい業績もしくは善行のあった者 （平成20年度）121名（平成21年度）128名※前嶋川市長に特別感謝状（平成22年度）141名 （平成23年度）133名（平成24年度）139名（平成25年度）93名（平成26年度）104名						
内容	平成26年度区功労実施内容[被表彰者数：104名（一般93名、活動3名、特別8名、区議会議員0名）] (1)日 時 平成26年11月7日 午前11時～（平成25年度は11月22日に実施） (2)場 所 ホテルラングウッド 2階 ラングウッドルーム 式典・祝宴 (3)招待者 ①特別来賓者 区議会正副議長・衆議院議員・都議会議員・区内官公署長等 ②一般来賓者 推薦者・区議会議員・行政委員等 (4)表彰式 表彰状、記念品の授与（東京藝術大学等による演奏あり） 記念品：純錫製タンブラー（一般、活動）、花かご（特別功労）						
経過	昭和60年度 表彰規則・要綱の一部改正（被表彰対象者の拡大） 平成3年度 表彰規則・要綱の一部改正（区議会議員表彰基準の改正により特別功労者表彰の実施） 平成6年度 表彰規則の一部改正（要綱の廃止、制定 分野別表彰実施） 平成9年度 会場をサンパール荒川からセレス西日暮里に変更 平成12年度 表彰規則・要綱の一部改正（題名及び組織改正による表彰区分の改正） 平成14年度 表彰規則・要綱の一部改正（特別賞の新設及び組織改正による事務局名の改正） 平成17年度 表彰規則・要綱の一部改正（活動賞の新設及び組織改正による事務局名の改正） 荒川区民交響楽団による弦楽四重奏を実施 平成18年度 会場をセレス西日暮里からホテルラングウッドへ変更（セレス西日暮里がメモリアルホールとなったため）記念品を荒川ブランドの品物に変更 平成20年度 東京藝術大学による弦楽四重奏を実施						
必要性	区の振興・発展に特に功労があった者に対して、その功績に報いるために必要である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ホテルラングウッドに会場設営等一式を委託						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
予算額	4,906	5,431	5,431	4,843	4,332	4,026	4,887	
①決算額（27年度は見込み）	4,233	4,968	4,230	4,716	3,505	3,994	4,887	
②人件費等	651	436	423	413	582	541		
③減価償却費		145	156	161	237	228		
【事務分担量】（%）	8	5	5	5	7	7		
合計（①+②+③）	4,884	5,549	4,809	5,290	4,324	4,763	4,887	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	4,884	5,549	4,809	5,290	4,324	4,763	4,887	
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
特別	自治 保健 地域	7/2/0/36	6/5/0/54	6/21/0/32	10/9/0/28	5/6/0/31	8/10/0/33	
学校	商工 社教 街	4/4/13/1	5/3/24/3	11/3/9/2	4/4/16/2	5/2/10/1	1/4/18/0	
文化	消防 環境 税務	9/2/5/4	5/13/2/3	12/8/4/4	11/6/2/7	13/4/0/3	5/9/0/3	
善行	社福 無形 活動	1/35/1/3	1/9/1/7	1/17/0/3	1/33/2/4	0/9/1/3	1/8/1/3	

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	式典出演料一式	140	報償費	式典出演料一式	140	報償費		140
需用費	記念品	1,681	需用費	記念品	2,021	需用費		2,969
	記念バッジ	57		記念バッジ	65			
	丸筒等	30		丸筒等	27			
	案内状等印刷	124		案内状等印刷	124			
役務費	表彰状等筆耕	106	役務費	表彰状等筆耕	145	役務費		244
委託料	会場設営委託等	1,367	委託料	会場設営委託等	1,439	委託料		1,534

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①							
②							
③							

（問題点・課題 指標分析）	
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実 状況	

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む 具体的な改善内容	平成26年度に実施した 改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①			
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	推進	地域貢献等をなされている方々を表彰することにより、区として感謝と敬意を表すものである。また、区民の方々の自主的な地域活動等を進めるきっかけづくりとしても、続けることが必要である。

況議 （要 旨） 会 質 問 状	
------------------------------------	--

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	01-02-02	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	新年祝賀会	部課名	総務企画部秘書課	課長名	秦野	担当者名	茂手木 内線 2005
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-06-01	新年祝賀会					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 不明年度		根拠				
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅶ 計画推進のために					
	政策	13 区民の主体的な区政参画と連携強化					
	施策	01 区民参画・協働の推進					
目的	年頭に当たり、日頃、荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者を招待し、区政への理解・協力を得ることを目的として開催する。						
対象者等	荒川区の発展に寄与している各界の代表者 平成25年度 招待者数 1,969人 来場者数 約1,100人 平成26年度 招待者数 2,003人 来場者数 約 850人						
内容	(1)日時 毎年1月4日 11時～ (2)場所 ホテルラングウッド（ラングウッドルーム） (3)招待者 国・都・区議会議員、区内官公署長、行政委員、町会長、民生委員、保護司、その他の公共団体の長、区民栄誉賞受賞者、叙勲受章者、荒川区ゆかりの文化・スポーツ・芸能人等 (4)区制75周年事業 20年新年祝賀会では、荒川区シンボルマークの発表を行った。						
経過	区の発展に寄与していただいている各界の代表者を招待して実施している新年祝賀会への招待者数は、2,000名を超え（出席者は年850名～1,100名程度）、新年祝賀会の現状からすると、区内で対応できる会場はホテルラングウッドしかないことから、平成3年度から祝宴会場をサンパール荒川からホテルラングウッドに変更し、開催している。 また、平成17年度から東京荒川少年少女合唱隊による合唱および荒川区民交響楽団による弦楽四重奏、平成20年度からは東京荒川少年少女合唱隊による合唱および東京藝術大学による弦楽四重奏、平成25年度には加えて、神山兄弟による津軽三味線を行うこととし、各界の代表が一堂に会する少ない機会を活かし、区内における文化活動をアピールする場を提供するという、従来の賀詞交換に加えた試みを実施している。						
必要性	年頭にあって、荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者が一堂に会し、区政への理解・協力を得るための重要な機会であることから、今後も継続が必要な事業である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ホテルラングウッドに会場設営等一式を委託						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移								
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
予算額	3,325	3,306	3,306	3,306	3,350	3,440	3,432	
①決算額（27年度は見込み）	3,230	3,267	3,267	3,268	3,330	3,420	3,432	
②人件費等	407	436	423	413	582	541		
③減価償却費		145	156	161	237	228		
【事務分担量】（%）	5	5	5	5	7	7		
合計（①+②+③）	3,637	3,848	3,846	3,842	4,149	4,189	3,432	
特定財源	国							
	都							
その他								
一般財源	3,637	3,848	3,846	3,842	4,149	4,189	3,432	
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	①来場者数（人）	800	900	800	900	1100	850	
	②招待者数（人）	1713	1798	1872	1874	1969	2003	
	③出席率（%）（①÷②×100）	47	50	43	48	56	42	

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	手話通訳・出演者謝礼	177	報償費		177	報償費		177
需用費	新年祝賀会案内状	57	需用費		59	需用費		71
委託料	祝賀会会場設営委託	3,095	委託料		3,184	委託料		3,184

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度見込み	目標値(28年度)	
①	出席率（%）	48	56	42		50	
②							
③							

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） 会費制実施（新宿区、墨田区、江東区、目黒区、太田区、中野区、豊島区、板橋区、練馬区、足立区）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①			
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	推進	荒川区の発展に寄与していただいている各界・各層の代表者の区政への理解・協力を得るために必要である。

況議 （要旨） 会質 問 状	【26年度議会定例会2月会議】 若林区議…式典のアトラクションで邦楽連盟の方に出演をお願いしてはどうか。
----------------------------	---

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-19	戦略プラン	●協働 ○業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	地域活動支援事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤
		担当者名	漆畑	内線	2521
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）		01-01-03	地域活動支援事業		
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	18年度	根拠	荒川区地域活動支援事業補助金交付要綱	
終期設定	○有 ●無	年度	法令等		
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画	○非計画
行政評価事業体系	分野	Ⅶ	計画推進のために		
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化		
	施策	01	区民参画・協働の推進		
目的	1 豊かで住みよい地域社会を築くため、区民や区民団体等の地域活動を支援し、区政参画の機会を拡大するとともに、区民や区内団体等との協働の促進を図る。 2 職を離れた団塊世代の方々が地域の活動や区政運営に積極的に参画し、地域の人的資源として活躍できるように支援する。				
対象者等	区民団体、定年退職後の区民、地域活動に関心のある区民等				
内容	1 地域活動サロン「ふらっと・フラット」の運営補助 （運営）荒川区社会福祉協議会 （場所）生涯学習センター1階 （開所日）週4日（火・水・金：13：00～21：00、土：10：00～18：00） （内容）・地域活動の拠点となるサロンの運営、情報提供、相談、コーディネート 2 コミュニティ活性化推進事業の支援 ・地域のコミュニティ活動が活性化するように、荒川区内の団体が区民を対象として行う事業に対し支援を行う。				
経過	平成19年度	地域活動サロン「ふらっと・フラット」開設			
	平成20年度	団塊世代活動支援コーナー開設			
	平成21年度	南千住図書館における団塊世代の図書特集の開催（1～3月）			
	平成22年度	関係機関連絡会の開催（2回）			
	平成25年度	区報「地域活動特集号」の発行			
	平成27年度	関係機関連絡会の開催			
	平成27年度	職員向け協働ガイドラインの検討			
	平成27年度	職員向け協働ガイドラインの策定			
	平成27年度	事業を文化交流推進課に移管			
必要性	多様化する区民ニーズに的確に応える区政運営のためには、区民の区政参画の機会拡大はもとより、区民や区内団体等との協働の促進が不可欠である。また、職を離れた団塊世代を中心とした区民の地域活動の支援は、地域の活性化につながることから、その必要性は高い。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ふらっと・フラット：社会福祉協議会に対する運営費補助				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		11,240	13,859	11,491	7,996	7,246	6,663
①決算額（27年度は見込み）		10,076	8,762	9,269	6,986	6,558	6,428	6,447
②人件費等		3,258	5,232	1,270	2,891	1,663	773	
③減価償却費			1,743	467	1,129	676	325	
【事務分担量】（%）		40	60	15	35	20	10	
合計（①+②+③）		13,334	15,737	11,006	11,006	8,897	7,526	6,447
特定財源	国							
	都	高齢社会対策区市町村包括補助事業	5,328	5,277			3,179	3,213
	その他							
一般財源		8,006	10,460	11,006	11,006	8,897	4,347	3,234
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	ふらっと・フラットの事業数（回数）	18回	21回	40回	25回	26回	27回	27回

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	地域活動支援事業補助金他	6,181	負担金補助等	地域活動支援事業補助金	6,238	報償費	協働研修(基礎編)	52
委託料	会場設営費等	165	償還金利子等	補助金返還額	190	負担金補助等	地域活動支援事業補助金	6,395
需用費	消耗品費等	117						
償還金利子等	補助金返還金	72						
使用料等	会場使用料	24						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度見込み	目標値(28年度)	
標	① ふらっと.フラットの利用者数(人)	2041	2234	2273	2350	2400	
	②						
	③						

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> 地域力を高め、地域活動の裾野を広げていくために、ふらっと.フラットにより芽生えた地域活動の動きをさらに支援し、地域活動の担い手を増やしていく必要がある。 協働の地域づくりを推進していくために、区職員の協働に対する意識の醸成や認識の共通化を図る必要がある。 より効果的に地域活動の支援等を行っていくため、適切な支援体制について検討する必要がある。
	他区の実況 （実施 10 区 未実施 12 区 不明 0 区） ふらっと.フラットに類似したコミュニティサロンを開設する区の数

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ふらっと.フラットを拠点に活動する団体を増やすとともに、区内で活動する団体と積極的に情報共有を行える方策について検討する。	コミュニティカレッジの在学学生・卒業生に対し、ふらっと.フラットの活用を促した。	ふらっと.フラットがより幅広い層の区民や団体の地域活動拠点となるよう、区民・団体間のネットワーク化の促進等を図る。
②	より効果的に地域活動の支援等を行っていくため、適切な支援体制について検討する。	より効果的に地域活動の支援等を行うため、文化交流推進課に事業を移管した。	関連部署と連携を図りながら効果的に地域活動を支援する体制の整備について検討していく。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	推進	より効果的に地域活動の支援等を行い、協働を推進するには、関連する施策を一体的・総合的に実施していくことが必要であることから、「コミュニティカレッジ」を所管する地域文化スポーツ部に事業を移管した。

議会 (要質問状)	H20・四定 : 団塊世代の参画の推進について H22・一定(予特) : シルバーパワーの活用について H22・二定 : 新しい公共について
--------------	--